

公共施設等一覧

名称	住所	電話番号
千代田町役場	赤岩1895-1	86-2111
保健センター	赤岩1705-1	86-5411
山屋記念図書館	赤岩1985-1	86-2885
コスメ・ニスト千代田町プラザ(町民プラザ)	赤岩1701-1	86-6311
KAKINUMAアリーナ・アクア・丸条サッカーフィールド(東部運動公園)	上五箇600-1	86-3012
総合福祉センター	赤岩2119-5	86-6181
児童センター	赤岩2119-5	86-6181
陽だまり交流館(児童館)	上五箇319-2	86-5730
自立支援サービスセンター	赤岩2119-5	86-8880
特別養護老人ホームちよだCOMハウス	赤岩2114-2	86-6771
特別養護老人ホームみどりの風	瀬戸井386	86-5011
あんしんケアサービスセンター	赤岩975	86-8250
東こども園	上五箇522-1	86-3226
西こども園	赤岩2119-6	86-4154
東小学校	上五箇316-1	86-3225
西小学校	赤岩1755	86-3204
千代田中学校	赤岩1920	86-3222
東小学校学童クラブ	上五箇316-2	86-6502
西小学校学童クラブ	赤岩1755	86-3685
千代田町立学校給食共同調理場	赤岩1755-1	86-3011
館林地区消防組合千代田消防署	萱野1218-1	86-3202
大泉警察署赤岩駐在所	赤岩1895-15	86-3210
大泉警察署上五箇駐在所	上五箇647	86-3960
JA邑楽館林永楽支所	赤岩193-5	86-3005
JA邑楽館林富永支所	上五箇319-4	86-4621
利根加用水土地改良区	下中森463-3	86-3402
千代田町商工会	赤岩1127-1	86-3207
群馬銀行千代田スマート出張所	赤岩1919-3	86-2210
東和銀行千代田支店	赤岩1744-1	86-4722
赤岩郵便局	赤岩1706-4	86-3200
富永郵便局	上中森906-1	86-2044
千代田医院	赤岩1173-1	86-6080
小西医院	赤岩1101	86-2261

ひとくちMEMO

Q.1 川せがきの「せがき」ってどういう意味?

せがきとは「施餓鬼」とも書く仏教用語です。亡くなった人のために祈りや供え物をして、魂を供養する儀礼のことです。

Q.2 なぜ「川せがき」が行われるようになったの?

明治10年夏、豆腐屋の奉公人の倉吉が、利根川に投網に行ってあやまって水死してしまいました。この知らせを聞いた豆腐屋の主人が、光恩寺の住職と相談し、倉吉の霊を供養したのが始まりと言われています。

Q.3 赤岩渡船で渡っているのは、川の上なのに県道なの?

赤岩渡船は、千代田町から利根川を挟んで向こう岸の埼玉県熊谷市葛和田を動力船で結んでいる主要地方道(県道)熊谷・館林線上にあります。利根川で橋のない県道はここだけです。

交通アクセス



お車でお越しの場合

- ◆東北自動車道
館林I.C.から約30分/羽生I.C.から約30分/佐野藤岡I.C.から約40分
- ◆北関東自動車道
太田桐生I.C.から約30分/足利I.C.から約40分
- ◆関越自動車道
花園I.C.から約50分/東松山I.C.から約50分

電車・バスでお越しの場合

- ◆東武鉄道館林駅から路線バス利用
広域路線バス「館林・千代田線」
赤岩渡船行きで約50分

広域路線バス「館林・邑楽・千代田線」
千代田町役場前行きで約50分
- ◆東武鉄道川俣駅から路線バス利用
広域路線バス「館林・明和・千代田線」
千代田町役場前行きで約30分
- ◆東武鉄道太田駅から路線バス利用
広域路線バス「大泉・千代田線」
千代田町役場前行き(西小泉駅を経由)で約50分
- ◆JR熊谷駅から
国際バス「熊谷駅・葛和田線」で
葛和田バス停まで約30分、
赤岩渡船(無料)で対岸の赤岩バス停まで約15分

発行

千代田町役場

〒370-0598 群馬県邑楽郡千代田町大字赤岩1895番地の1
TEL 0276-86-2111/FAX 0276-86-4361

(URL) <https://www.town.chiyoda.gunma.jp/>

※掲載内容は令和3年2月1日現在の情報です。

自然満喫!
せせらぎ響く
憩いのまち

CHIYODA TOWN GUIDE

千代田町のマスコット
みどりちゃん



©CHIYODA TOWN



千代田町

自然とふれあう元気で優しい町

CHIYODA TOWN GUIDE

▶豊かな水と緑に育まれたまち

千代田町は利根川中流域の左岸に沿って東西に細長く伸びた水と緑豊かな町です。「鶴舞う形」の群馬県の首の部分にあり、悠々と流れる利根川の流れと緑豊かな田園風景が広がっている町には、昔も今も変わることのない爽やかな風が吹きわたっています。

▶水と共に発展してきた軌跡

江戸時代には利根川を利用した江戸への水運の拠点として繁栄を誇った歴史があります。利根川流域の肥沃な田園からは良質な米麦が収穫され、「植木の里」としても知られています。赤岩渡船、川せがき、利根大堰、なかさと公園など水辺観光も充実しています。

▶受け継がれる歴史と文化

赤岩光恩寺の阿弥陀三尊像、荻野吟子ゆかりの長屋門、寛林寺の梵鐘、東光寺の仁王像、など、先人の心を伝える数多くの文化財があります。詩、画、書に非凡な才能を発揮した江戸時代の儒学者亀田鵬齋、馴染みの川魚店で執筆した田山花袋もこの町の歴史を伝えます。

川せがき

KAWASEGAKI

川面を流れる灯ろう、夏の夜の幻想的な風景。

140年以上の歴史を持つ伝統ある行事です。毎年8月18日の夜、利根川を始めとする水難事故者や万霊を供養するため、僧侶による読経と灯ろう流しが行われます。祭り会場では、民謡流しや打ち上げ花火などの催しも行われ、川面に映る灯ろうの光と水中スターマインが夏の夜を彩ります。

利根川

TONEGAWA

◆利根大堰

利根川に設けられた全長700mの大きな堰。上流ではウィンドサーフィンやジェットスキーなどの水上スポーツが楽しめ、下流にはたくさんの釣りスポットがあります。また、堰の魚道脇に併設されている大堰自然の観察室では春にはアユ、秋にはサケの遡上が見られます。

ウィンドサーフィンで爽快に！

ジェットスキー

◆赤岩渡船

赤岩渡船は、千代田町赤岩から利根川を挟んで埼玉県熊谷市葛和田を動力船で結んでいる主要地方道（県道）熊谷・館林線にある橋のない公道です。赤岩渡船の歴史は古く、戦国時代、上杉謙信の文献にも登場します。江戸時代に年貢米や木材、塩を輸送する河岸場として設置されました。今も昔ながらの風情を伝えながら約400mの川幅を約5分かけて進みます。

◆サイクリングロード

利根川沿いに整備された全長11kmのサイクリングロード。なかさと公園や赤岩渡船を基点に心地よい風を受け、自然を感じながらサイクリングが楽しめます。

物産

B U S S A N

◆産業祭

地域産業の活性化を目的に毎年11月に開催します。地元商工業者や団体等による飲食、物産の販売、展示のほか、豪華景品が当たる抽選会など幅広い年齢層の方が楽しめます。

◆酒

利根川からもたらされた清涼な地下水と厳選された酒造米によって作られる酒は、芳醇な飲み口が好評です。

◆植木

庭木から造園まで、植木の生産と流通で全国的に知られる「植木の里」。町内北西部を中心に広がる総面積100ヘクタールの植木畑が広がっています。

◆川魚料理

古くから利根川は、コイやウナギ、ナマズなどの絶好の漁場でした。町内には美味しい川魚料理のお店があります。

◆ビール

千代田町周辺には、大麦畑が広がり、通称ビール麦が作付けされています。県内の大手ビール会社のビール工場として唯一のサントリー〈天然水のビール工場〉群馬・利根川があります。

公園 K O U E N

◆第一三共なかさと公園(なかさと公園)

利根川の水面を渡る風が吹き抜ける、緑豊かな公園です。6.2haの広い敷地内には、芝生広場やバーベキュー場、遊具などがあります。

◆東部運動公園

野球場、丸糸サッカーフィールド、テニスコートなどの屋外競技場や、KAKINUMAアリーナ・アクアがある総合運動公園です。芝生広場には子ども達が遊べる遊具もあります。



◆丸糸サッカーフィールド (芝サッカー場)

天然芝のサッカー場であり、各種大会や練習などでご利用できます。

◆KAKINUMAアリーナ(総合体育館)

各種イベントに対応できる多目的アリーナのほか、トレーニング室や研修室などがあります。



◆KAKINUMAアクア(温水プール)

25mプールとミニプールがあり、小体育館ではバウンドテニスや卓球などが利用できます。

施設 SHISETSU

◆コスメ・ニスト千代田町プラザ (町民プラザ)

生涯学習及び芸術文化活動の拠点として、魅力ある地域社会の場を提供する施設です。研修室のほか、ギャラリーとして利用できるロビーやホール(固定席500席、臨時席160席)などがあります。



◆山屋記念図書館

故・山屋八万雄氏(名誉町民)からの寄付金をもとに、近隣に先駆けて建設された図書館です。建物の外観は山屋氏の名前を永久に残すように、「山」の形をイメージしています。2階には学習室もあり、落ち着いた静かな環境の中で学習できます。

◆総合福祉センター

老人福祉センター、児童センター、福祉作業所が併設された複合施設です。町の福祉サービス推進の中核をなす施設で、連日、町内外からの数多くの人に利用されています。

文化財 BUNKAZAI



光恩寺 どうごしゅれい 銅五種鈴(国指定重要文化財)

「銅五種鈴」は鎌倉時代の作品と推定される高さ約20cmの銅製の鈴で、密教法具として使われる宝珠鈴、宝塔鈴、五鈴鈴、三鈴鈴、独鈴鈴の五種類がまとまって残っている数少ない貴重な文化財です。

光恩寺 あみださんぞう 阿弥陀三尊像(県指定重要文化財)

北関東における定朝様式を伝える阿弥陀如来と脇侍の観音・勢至の両菩薩を従える鎌倉時代初期の代表的な三尊像です。



光恩寺 じぞうぼさつがぞういたび 地藏菩薩画像板碑(県指定重要文化財)

鎌倉時代の石造美術品としても貴重なもので、画像板碑としては日本で最古に属するものです。弘法大師「爪引き地藏」として親しまれ、人々の信仰を集めてきました。

東光寺 じんわうぞう 仁王像(町指定重要文化財)

松材製寄木造り、差し首、玉眼(水晶)嵌入の彩色像で、造像年代は17～18世紀初期の頃と推定されます。非凡な技法と独特の表現が各所に見られる優れた仁王像です。



寛林寺 ぼんしやう 梵鐘(町指定重要文化財)

国の重要美術品とされた名鐘で、館林城主徳川綱吉の家老であった黒田信濃守が館林の広済寺に寄進したものです。館林城が廃城の際に寛林寺に移されました。当地方の歴史を語る貴重な鐘です。



◆光恩寺

千代田町にある最も古いお寺で、約1200年前に開かれたと伝えられています。荻野吟子旧長屋門、阿弥陀三尊像など多くの文化財を所蔵し、境内にある十月桜も見事で紅葉とのコントラストが楽しめます。



光恩寺 荻野吟子旧長屋門(国登録有形文化財)

武蔵国依瀬村(現埼玉県熊谷市依瀬)の名主荻野綾三郎宅(日本初の女医荻野吟子の生家)から移築された長屋門。



春は桃の花、秋は櫻の紅葉 田山花袋

館林生まれの文豪・田山花袋(1871～1930)は、赤岩付近の雰囲気と利根川沿いの「新田家」が大きなお気に入りでした。旅館「新田家」に滞在し、そこを舞台にした「河ぞひの春」を大正8年に発表しました。この作品には、当時の風俗や利根川の風景がとても分かりやすく描かれています。

多芸多才な儒学者 亀田鵬齋

江戸時代の代表的な儒学者であり、詩、書、画にも人並みはずれた才能を発揮した。郷土を代表する学者及び芸術家であり、鵬齋の作品は、郷土に寺社仏閣の碑や匾額、個人所有の書画等、数多く存在しています。



歴史 散策



